

理念
兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針
・人権を尊重し、患者の立場に立った医療の実践
・人間性豊かな、優れた医療人の育成
・高度で、先進的な医療や医学研究の推進
・健康増進活動による保健・福祉の推進
・地域の医療機関との円滑な連携



急性医療総合センター 〜平成25年4月オープン！〜

■災害拠点病院としての役割

兵庫医科大学病院は、平成8年10月に兵庫県より「災害拠点病院」として指定され、平成19年には西宮市の条例により「災害拠点医療地区」として指定されました。災害拠点病院は、災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うための高度な診療機能、院内の水や電気等のライフラインの維持機能、及び災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣機能等を持ち、重症・重篤な傷病者を受入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院として位置づけられています。

兵庫医科大学病院「急性医療総合センター」の建設は、災害拠点病院及び特定機能病院として地域における医療の充実を図るため、救急、集中治療、手術部門等を一つの建物に集約するとともに、大規模災害時にも機能し続けることを目指し計画されました。

■急性医療総合センターの概要

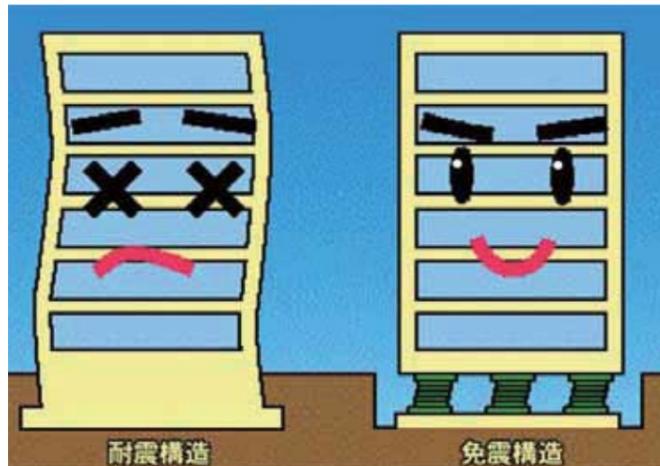
急性医療総合センターには、救命救急センター、手術センター、集中治療センター、IVR（血管内手術）センターなどの急性期医療の中枢をなす施設を集約・配置し、災害拠点病院としての役割を充実させ、



土台部分に設置された免震装置

| | |
|----|-------------------------------|
| 7階 | 機械室 |
| 6階 | 周産期センター (NICU、GCU、産科手術室など) |
| 5階 | アイセンター、手術センター(中央滅菌室) |
| 4階 | 手術センター |
| 3階 | 集中治療センター(ICU、HCUなど) |
| 2階 | 救命救急センター (EICU・CCU、救急病床など) |
| 1階 | 救命救急センター(初療室、救急手術室など)、IVRセンター |

地震などの大規模災害時にも機能するよう、免震構造を採用しています。また、集中豪雨や武庫川の氾濫などの大規模水害に備え、機械室は地下に設置せず最上階に設置し、水没による機能停止等にも備えています。



これまでの病院は開院以来40年が経過しており、漏電や水漏れが発生するなど建物の老朽化が進んでいます。そして天井が低く手術室が手狭でしたが、急性医療総合センターでは天井をより高く設計してあるので、今まで困難だった最新の大型医療機器設置も可能になりました。また、将来を見据えたグラウンドデザインを採用し、今後増改築などがあった場合もスムーズに対応できます。

救命救急センターと手術センターが離れていたため、搬送に5分以上かかっていたところも、急性医療総合センターに集約したことで、スムーズな連携が可能になります。

急性医療総合センターの設立により、より一層安全で質の高い医療、高度な医療を提供し、地域社会へのさらなる貢献をめざします。



武庫川を望む建物東側のスタッフラウンジ

フロア紹介

■6階 周産期センター

6階の周産期センターは、新生児や未熟児のための集中治療室があり、隣接する10号館の母親のための集中治療室と併せて産前産後の一貫した療養を提供できるようにになります。ゆっくりにくく授乳室や退院支援を旨とした外泊準備室も備え、フロア全体を暖かい色調で統一し、床も木目調にするなど、リフレッシュできる環境を整えました。



■4階 手術センター

4階の手術室センターには、これまでより広い14室の手術室を設置し、血管撮影装置を統合したハイブリッド手術室や、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」など、最新鋭の医療機器を導入しています。



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」



ハイブリッド手術室

■2階 救命救急センター

2階には救命救急センター用の集中治療室（EICU）と、重症の循環器疾患患者の集中治療室（CCU）があり、大学病院の特性を生かし、複合重症疾患や循環器救急疾患の患者さんに高度な専門的集中治療を行います。また、1階の救命救急センターでの初療後、病院内の全診療科と連携して、速やかに専門分野での治療が受けられるよう運用します。



■5階 アイセンター、手術センター（中央滅菌室）

アイセンターは、目および目の周囲のあらゆる病気に対応する、最新鋭の手術機器を備えた手術室3室を有し、手術室へは病棟から直接入室することができます。また、担当看護師・スタッフが手術にも立ち会うことで、一体化した医療を提供します。

5階の手術センターには管理部門や職員用の施設を設置し、中央滅菌室では、手術や処置に使用する医療用機械の洗浄・組立・滅菌を行います。



アイセンター

■3階 集中治療センター

3階の集中治療センターICUでは、主に院内の重症の患者さんや、心臓血管外科、脳外科、肝臓外科などの術後患者さんの回復を目的に集中治療を行います。

また、HCU（ハイ・ケア・ユニット）は、中等症の患者さんの治療・回復を目的としており、ICUと一般病棟との中間的な働きで病院全体として有効かつ安全な医療を提供します。



■1階 救命救急センター、IVRセンター

1階の救命救急センターでは、初療室、熱傷専門処置室、手術室があり、循環器専門医と救命救急医が分担・協力して急性心筋梗塞や多発外傷などに、緊急手術や処置を行います。

IVRセンターはエックス線透視、CTなどを見ながら体内に細い管（カテーテルや針）を入れて治療を行います。循環器、脳神経、頭頸部、胸部、腹部などに対し、血管形成術、動脈塞栓術などの血管への治療と、患部の一部を切り取って行う生体検査、ラジオ波による局所療法などの血管以外への治療を行います。4つの血管撮影室には、それぞれ最新鋭の装置を備え付け、全ての領域で先進的な診療を行います。



「くすりの話」

水なしで飲める錠剤って？

水なしで飲める錠剤は、一般に口腔内崩壊錠（こうくうないほうかいじょう）といわれています。これは、舌の上に乗ると唾液あるいは少量の水分により数十秒でとけるため、一般の方のみならず、錠剤をうまく飲み込めない高齢者や水分摂取制限を受けている方にとっても有用です。口腔内崩壊錠は、従来の水で飲む錠剤と効果に差がないことが試験で確認されています。また、水で飲んだ時と水なしで飲んだ時の差がないことも確認されていますので、ほかのくすりと一緒に水で飲んでも差し支えありません。

服用時の注意としては、寝たままの状態のときは水なしでは飲まないようにすること、口腔内崩壊錠の中には吸湿性が高いものがあるので、そのような錠剤は飲む直前に包装から取り出すようにすることなどです。

薬剤部

薬剤部は患者さんに安全かつ効果的な薬物療法を提供するため、調剤製剤部門・臨床薬剤部門・薬剤管理部門に約60名の薬剤師を配置し、内外用入院調剤、一般・特殊製剤、TPN(高カロリー輸液)・抗がん剤を含む注射薬の混合調製、患者さんへの服薬説明、医薬品の購入・供給・品質管理、医薬品情報の収集・提供など、各部門がそれぞれ重要な役割を担っています。

さらに、チーム医療の中でその職能を發揮できる臨床薬剤師の育成に力をいれており、各医療チームに薬剤師を配置し、今後各領域における専門薬剤師の育成に努め、患者さんに信頼され、医療スタッフから評価される薬剤部を目指しています。



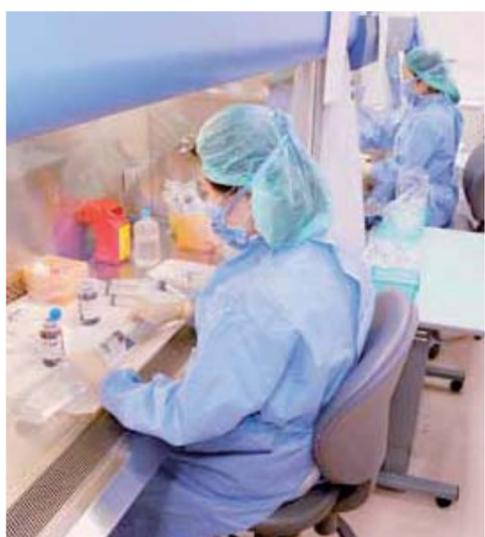
【調剤製剤部門】

入院患者さんの内外用薬や注射薬の調剤を担当しています。調剤支援システムを駆動し、調剤の効率化を図るため様々な方法を用い、与薬にかかるリスクの軽減を図っています。また、厳重な管理を必要とする向精神薬・筋弛緩薬・血漿分画製剤などの使用に對しての適正な取り扱いを実施し、患者さんに安全な投与ができるよう医薬品の調剤と管理を行っています。製剤試験室では、各種製剤機器や無菌室を設備し、一般製剤と特殊製剤の調製、試験、供給及びTPNの調製を担当しています。TPNの調製は、「無菌製剤処理」の施設基準の承認を得ており、現在、1ヶ月あたり約2000本のTPNを調製・供給しています。また、患者さん個々に合わせた薬物治療(テララーメイド医療)用の薬剤の調製も行っています。

【臨床薬剤部門】

薬品情報管理室は医薬品に関する情報を

集め、整理し、院内外に提供しています。この病院で採用されている医薬品はもちろん、薬局・薬店で売られている薬なども含めた各種の医薬品についての情報を扱っています。医薬品についての情報は日々新しくなっています。また、これらの情報を様々な方法を用いて集め、利用しやすいかたちに整理します。一方、外来患者さんに対しては、「お薬相談室」を設け、薬剤の使用法や管理法などについてわかりやすく説明しています。4つの病棟薬局(1号館8階・10階・13階、10号館1階)を配置し、各病棟における一般注射薬の無菌混合調製・薬剤管理指導および病棟配置薬の管理などを行っています。入院患者さんには持参薬のチェックや、服用薬の薬剤の効果・副作用及び服用方法などの説明および退院時の服薬説明を患者さんのベッドサイドで行っています。また、糖尿病教室への参画や腎臓病教室のスタッフの一員としての業務も行っています。



【がんセンター外来化学療法室】

適正な抗がん剤治療を提供するため、外来化学療法室で、薬剤師が化学療法レジメン(投与する薬剤の種類や量、期間、手順などを時系列で示した計画書)をチェックし、安全キャビネット内で適切な手技にて抗がん剤を無菌混合調製しています。また、患者さんが安心して治療を受けられるように、ベッドサイドでお薬の説明も行っています。

麻酔科

■診療内容

当科は、全身麻酔、脊椎麻酔(腰椎麻酔)、硬膜外麻酔をはじめとした各種の麻酔を行い、手術中の患者さんの安全確保(鎮痛、鎮静)に努めています。当院のすべての外科系診療科の手術麻酔管理(各科で行う局所麻酔症例以外)を担当しています。2012年は約6090例の麻酔管理を行っています。外科系各科や救命救急センター、集中治療室、ペインクリニックとも協力連携して、患者さんが順調に手術を終えて回復されるように、術前のリスクチェックから麻酔計画を立案し実施します。レミフェンタニル、スガマデックス、デスフルランなどの新しい薬剤の登場に加え、各種の機器類や管理法の進歩により麻酔の安全性は格段に向上しております。しかし、様々な臓器に問題

を抱えた患者さんも手術を受けられるようになり、より注意深い麻酔管理が必要となっています。周術期(手術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間)の合併症を極力減らせるよう、安全性を重視して日常業務を行っています。



麻酔器、モニターと電子麻酔記録装置

■麻酔の各分野の紹介

■心臓の麻酔

人工心肺を用いるほとんどの心臓手術で、食道内に挿入した超音波プローブ装置を用いて、リアルタイムに心機能、弁のチェッ

クを行っています。これにより、異常の早期発見や手術の順調な進行が期待できます。当院では心臓麻酔専門医の資格を持つ指導医のもと麻酔管理を行っています。また、僧帽弁形成手術等では3Dエコーを用いた立体的な弁の評価を行い治療成績の向上を目指しています。さらに、従来法に比べ低

侵襲の手術である大動脈ステント挿入術やMinimally Invasive Cardiac Surgery(従来よりも小さな傷で行う心臓手術)の麻酔管理にも取り組んでいます。

超音波ガイド神経ブロック

近年、超音波画像により神経と麻酔薬を注入するブロック針との位置関係を見ながら神経ブロックを行う手技が普及し、従来の解剖学的な位置情報から推測するランドマーク法に比べ安全性、確実性が向上してきました。合併症を最小限にするべく、経験豊かなスタッフの指導のもとで施行しています。現在行っているブロックは大腿神経ブロック、腹横筋膜面ブロック、腕神経叢ブロック、閉鎖神経ブロックなどです。また、呼吸器外科領域では、肋間神経ブロックや傍脊椎神経ブロックも行っています。

産婦人科の麻酔

緊急帝王切開症例への迅速な対応を行え

るように体制づくりに努め、例年1600~2200例程度の帝王切開術の麻酔を行っています。

小児の麻酔

小児外科、眼科、泌尿器科、形成外科、耳鼻科において例年300~400例程度の5歳以下の小児の麻酔管理を行っています。極少未熟児の緊急手術の麻酔も行います。

救命救急センターの麻酔

外傷や腹膜炎など緊急手術を要する患者さんの麻酔管理を24時間体制で対応しています。

前立腺ロボット手術の麻酔

平成24年12月から内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による前立腺全摘術の麻酔管理を行っています。この手術は出血量が少なく、低侵襲である等の利点があり、これらの利点を活かせるよう泌尿器科の先生と協力して取り組んでいます。



3D心エコー装置



経食道心エコープローブ



低侵襲心臓外科手術 (MICS ミックス手術) の様子



くるみ薬局では、「地域に密着した、信頼と親しみのおける、かかりつけ薬局」を目指しております。お気軽にご相談ください。

阪神電鉄武庫川駅西口を出て右手すぐにありますので、お気軽にお立ち寄りください。



くるみ薬局では、すべての病院・医院の院外処方せんを受け付けております。

住所：〒663-8124 兵庫県西宮市小松南町1-17-30
 電話番号：0798-46-1157
 FAX番号：0798-46-1157
 営業時間：月～金曜日 9:00～18:00
 土曜日 9:00～14:00
 *処方せん受付は8:30から行っております。
 定休日：第2、第4土曜日、日曜日

Kurumi pharmacy **くるみ薬局 武庫川店**
<http://www.kurumi-ph.jp>

処方せん受付

NISHI PHARMACY

西薬局 武庫川店

兵庫医大病院の処方せん受付致します！！

患者様のお薬に対する、不安や疑問を解決して、お薬を安心して正しく服用して頂ける様、スタッフ一同 取り組んでおります。

お知らせ

処方せんを、お受け取りになられた後、1号館1階 院外処方せんFAXコーナーより、処方せん用紙をFAXして頂きますと、お薬をお渡しするまでの時間が短くなり、大変便利です。西薬局にて、無料のFAX送信カードをご用意致しております。お気軽にお申し付けくださいませ。 * 阪神武庫川駅 西口すぐ！！

TEL : 0798-43-3232
 FAX : 0798-43-3233
 月曜～金曜 9:00～18:00
 第1・3・5土曜 9:00～14:00
 休日 第2・4土曜 日曜・祝日
 薬局前に P アリ



兵庫医大病院、全国の病院・医院の処方せん、お受けします。

あなたの健康サポートします。笑顔で、間違いに対応いたします。各種クレジットカードもご利用いただけます。

ワタキューグループ 全国137店舗 **ワタキュー薬局 武庫川駅前店**

FRONTIER

月曜日～金曜日 9:00～18:00
 第1・3・5土曜日 9:00～14:00
 第2・4土曜日、日曜、祝日はお休みです。

TEL 0798-42-6702 〒663-8131 西宮市 武庫川町2番19P-1ビル1階
 FAX 0798-42-6703 ◀無料ファックスカードをご用意してお待ちしております。

阪神武庫川駅西側出口すぐ 駐車スペースあり

処方せん受付

兵庫医科大学病院、全国の医療機関の処方せんを受け付けております。

お薬の事など、お気軽にご相談ください。皆様のご利用をお待ちしております。

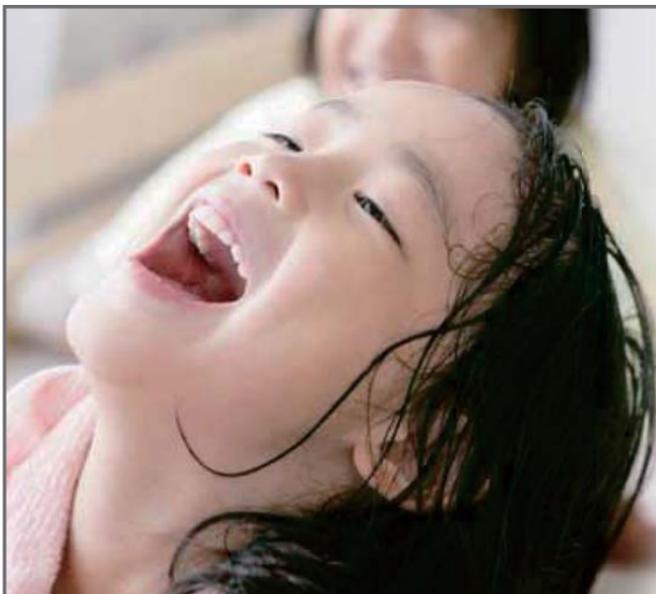
武庫川店 [営業時間] 月～金 8:30～17:30 第1・3・5土曜 8:30～13:30
 [定休日] 第2・4土、日、祝日
 TEL.0798-44-3029 FAX.0798-44-3039



武庫川駅前店 [営業時間] 月～金 8:30～17:30
 [定休日] 土、日、祝日
 TEL.0798-42-3080 FAX.0798-42-3081

より良い医療サービスの提供がすべてです。

株式会社 阪神調剤薬局
<http://www.hanshin-dp.co.jp>



誰もがすこやかに、笑顔でいられる毎日を。

健康のこと、お薬のことお気軽にご相談ください

アイセイ薬局 武庫川店

兵庫県西宮市池開町3-20
 Tel. 0798-44-3577
 Fax. 0798-41-6400

開局時間 月～金 8:30～17:30
 土(第1,3,5) 8:30～13:00
 定休日 第2,4土・日・祝日



AISEI
www.aisei.co.jp

兵庫医大病院等、どちらの医療機関の処方せんでも受付いたします

市民健康講座のお知らせ

| 開催日 | テーマ | 講演者 |
|----------|-----------------------|--------------------|
| 4月24日(水) | 高齢者のうつについて | 精神科神経科 主任教授 松永 寿人 |
| 5月15日(水) | ヘリコバクターピロリ感染胃炎と除菌について | 内科 上部消化管科 講師 福井 広一 |
| 6月5日(水) | 胸やけのこともっと知ろう | 上部消化管外科 講師 竹村 雅至 |
| 6月26日(水) | 造血幹細胞移植について | 血液内科 講師 池亀 和博 |

開催場所・時間 10号館3階 第3会議室 15:00～16:30 申込み不要、参加費不要
 お問い合わせ先 兵庫医科大学病院 地域医療・総合相談センター 電話番号：0798-45-6035(直通)

病院NEWSのバックナンバーは兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。
<http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hospitalnews.html>
 または、学校法人兵庫医科大学 病院NEWS で検索してください。